

## 平成30年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会で出された主な意見

### (1) 「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の進捗状況について

- ・虫歯のない3歳児の割合が改善したことについては、通常1歳半健診から3歳児健診の間に虫歯になることが多く、2歳や2歳半の健診を行う市町が着実に増えてきたことが要因としてある。このように、細かく支援を行うと成果はしっかりと出てくる。
- ・児童精神科医については、三重大学でも小児科から児童精神科に進むことへの支援も行っているが、まだ全然足りていない。政策的なサポートをいただけるとありがたい。
- ・三重県立子ども心身発達医療センターができ、小児科医と精神科医が集まるオープンカンファレンスを年2回実施し、顔つなぎの場にもなっているが、顔の見える関係が患者紹介にもつながるので積極的に交流を進めることをお願いしたい。
- ・こういった会議における情報など、行政の横のつながりで情報共有をしっかりとしてもらいたい。
- ・母子健康手帳を取りに来た妊婦はそこで状況を把握できるが、取りに来ないケースをどう把握するのか、というところが重要である。また、市町が把握する前に教育機関で把握するケースもあるので、そのあたりの連携の強化もお願いしたい。
- ・若年の妊娠の問題では、妊娠が理由となって退学ということになると、貧困の問題をますます抱え、虐待の背景になりかねない。三重県もできる限り本人の意思を尊重する形で、市町も一丸となってケアやサポートを行っていただきたい。
- ・虐待による死亡件数について、現在チャイルド・デス・レビューというものが注目されているが、死亡事例の検証を行うと虐待死も増える可能性がある。
- ・児童虐待件数は「児童相談所関与」となっているが、なぜ関与せずにその子が亡くなったかという部分にも取り組んでももらいたい。

### (2) 「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の見直しについて

- ・妊婦の歯科健診について、県内では半分くらいの市町しか行っていないという実態があるので、指標に入れてもらいたい。

### ○今後の対応方針

いただいた意見は、「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の今後の取組において活用するとともに、計画見直しの参考とします。